



# 節分

## <「節分の話」あらすじ>

2月3日は、節分です。

昔々、2月3日の節分の日、幸せを祈りに神社やお寺へお参りに行く日だったそうです。ところが、しばらくすると、そのお参りに行く人たちを鬼たちが襲って食べるようになりました。

それを知った神様が、鬼の親分を呼び出し、言いました。

「豆を育てて実らせてみなさい。見事に豆が実ったなら、今まで通り人間を食べてもよい。その代わり、もし豆が実らなかったら、人間を食べるのは止めるのだ。」

鬼の親分は、子分の鬼たちと畑を耕すと、豆をまいてたっぷり水をやりました。ところが、いつまで経っても芽が出ません。鬼の親分は、再び神様の所へ行き、もう一度豆をもらい、まきました。しかし、いつまで経っても芽が出ません。鬼の親分は、神様の所へ行き、「もう豆を見るのも嫌だから、もう人間は食べない。」と約束をしました。神様が鬼に与えた豆は、実は、火でいった豆だったので、いつまで経っても芽が出ないのです。

鬼の親分が帰ると、神様は、人間たちに「鬼は、いった豆が大嫌いなので、鬼が現れる節分の日、いった豆を鬼に投げると良い。」また、「イワシの匂いも嫌いなので、節分にイワシを食べて、体の中の鬼も追い払うと良い。」と伝えました。

### <献立例>

#### 「節分給食」

- ・いわしのかば焼き
- ・きなこ豆
- ・うちまめ入りみそ汁  
など

